

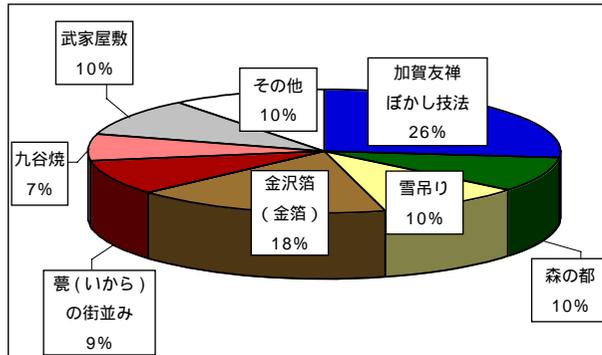
アンケート結果

前回の景観委員会以降、国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所のホームページにて、犀川大橋の新しい色彩に関して、多数の意見をお寄せ頂いております。これまでにお寄せ頂いた144名の方のアンケート結果をとりまとめた概要は以下のとおりです。

Q1.「金沢らしさ」を表現するためには犀川大橋を「どのような」イメージにすればよいと思いますか？1つだけ選んで下さい。

- 第1位：加賀友禅_ぼかし技法 (26%)【前回1位 15.5%】
- 第2位：金沢箔_金箔 (18%)【前回4位、12.5%】
- 第3位：森の都 (10%)【前回2位、15.2%】
- 雪吊り (10%)【前回3位、14.6%】
- 武家屋敷 (10%)【前回7位、5.4%】

犀川大橋の現在の色彩やぼかし技法を活用したグラデーションが市民に浸透している様子が伺えます。
加賀伝統の群青壁の色、黒と金、などの具体的なイメージの他検討手法や抽象的なイメージの意見も寄せられました。



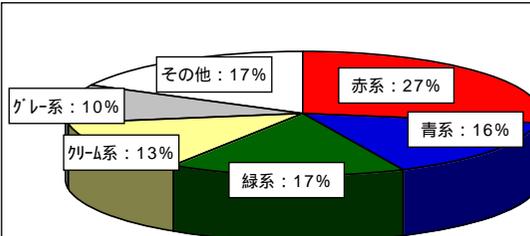
【その他】

加賀伝統の群青壁の色、金沢の長い冬の空
建設当時の伝統、21世紀美術館、雑多な片町のイメージ
用水(犀川)と土塀、黒と金、木橋のイメージ
幕末の錦絵のように、金沢の風土性を活かし風光に映える
江戸から受け継がれた犀川大橋
イメージで色を決める手法は賛成できない
すくなくとも単色にすべき

Q2.「金沢らしさ」を実現するために、犀川大橋にふさわしい色彩はどれだと思いますか？1つだけ選んで下さい。

- 第1位：赤系 (27%)【前回3位 18%】
- 第2位：緑系 (17%)【前回2位、26%】
- 第3位：青系 (16%)【前回1位、27%】
- 第4位：クリーム系 (13%)【前回4位、11%】

前回より赤系を好む意見が多く寄せられました。
比較検討案の中にも盛り込んでいきます。



【その他】

金色 (5名)、木の色、木目調、金箔の【金色】
レンガ色 (旧四高レンガ校舎のイメージ)
片町は見た目が暗いので金箔のイメージでゴールド
九谷焼に使われているような黄色系や紫系
白銀と銀鼠のトーンによる構成、深い茶色、黄色
藍色で金箔のイメージのゴールド、ふじ色、小豆色に近い紫
真白が漆黒、1色でなく華やかな和服のイメージ
朱+金、白+金、金銀で華やかに、10YR系(オレンジ~黄)
焦げ茶系、茶屋街の色・木の色、茶系、格式の高い色
ダークグレーの光沢有りが、きれいに酸化した銅噴き屋根の色

《参考》「金沢らしさ」の表現のための参考イメージ(前回アンケート結果)

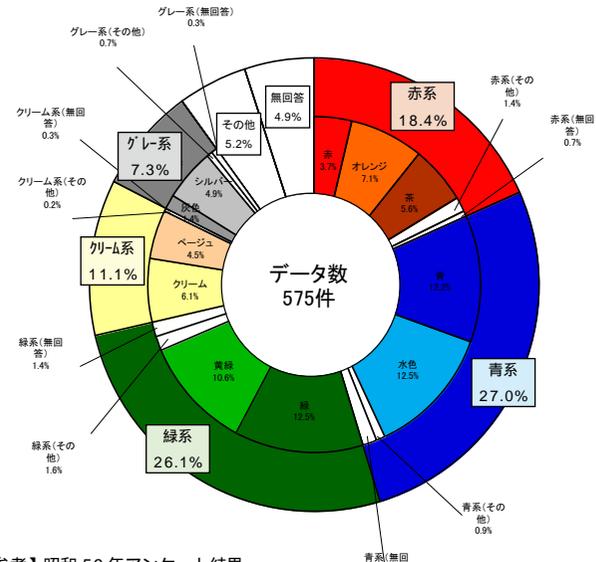
- 第1位：加賀友禅_ぼかし技法 (15.5%)
- 第2位：森の都 (15.2%)
- 第3位：雪吊り (14.6%)
- 第4位：金沢箔_金箔・銀箔 (12.5%)

《参考》前回委員会で提示したアンケート結果

前回委員会でご提示した「第14回金沢・犀川犀まつり(平成19年9月22~24日)」開催期間中に、開催したアンケート結果は以下のとおりです。

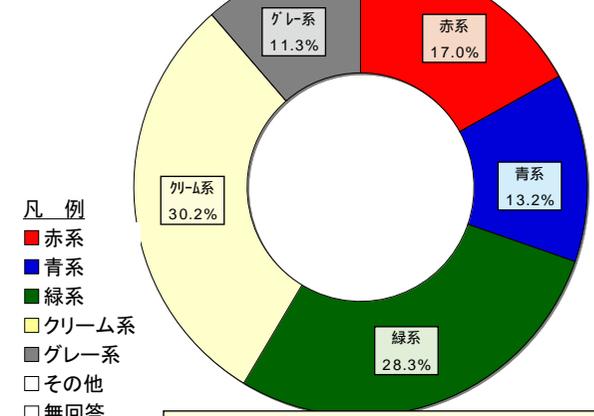
平成19年アンケート結果

回答者：575名



【参考】昭和59年アンケート結果

回答者：53名



凡例

- 赤系
- 青系
- 緑系
- クリーム系
- グレー系
- その他
- 無回答

橋に求められる色彩の傾向としては、現況色彩が好まれています。

Q3. 犀川大橋の色彩についてのご意見や、資料をご覧になった感想等を自由に記入下さい。
(色や金沢らしさの表現についてピックアップしました)

【コンセプト、考え方に関する意見】

- ・橋を渡るのが楽しくなるデザインにしてほしい。
- ・歴史があり、重要な橋として再認識しました。
- ・リベット打ちの無骨な犀川大橋です。
- ・雨が降ることの多い金沢、明るくかつ古都のイメージで赤系の色に友禅の柄。
- ・21世紀美術館に負けないオシャレな感じ。
- ・歴史があり、重要な橋として再認識しました。
- ・ランドマーク的な意味や象徴を生む橋は、特別な色でもいい。
- ・金沢は落ち着いたイメージがあり、色彩にも敏感な反応がある都市なので、周辺の緑と一体化させるのが良い。
- ・昔の面影も残して欲しい。じいちゃんが見ていたあの頃の橋も見てみたい。
- ・最新技術を使って、はじめの色を保てるようにしてほしい。
- ・春の桜の花びらが犀川に浮いて大橋と一体となるイメージ。
- ・金沢の賑わいの象徴に華やかさが欲しい。
- ・犀川に架かる他の橋との違いを際立たせて欲しい。
- ・強い主張を持った色を金沢に持ち込むべき。
- ・犀川大橋は歴史的建造物なので金沢のシンボルでもあり、石川県のシンボルでもある。
- ・工芸品などの「物」をテーマとするより、街並みの印象をさらに強める方にしたほうがよい景観となる。
- ・曖昧なトーンとせず、伝統を感じさせる単色がよい。
- ・四季を通して親しめるものにしてほしい。
- ・金沢らしいきれいな橋にしてほしい。
- ・鉄骨部分の力強さとシャープさの重なり合う景観が重要。
- ・歴史ある街にふさわしい、穏やかな色彩。
- ・落ち着いて重厚な感じながらも、現代的に明るさも持ち合わせたい。
- ・上流に望む四季の山並みの美しさを残したい。

【金沢らしさに関する意見】

- ・金箔はぜひ取り入れてほしい。
- ・金沢といえば、金箔。
- ・加賀友禅や九谷焼、金箔も素敵ですが、犀川との色の釣り合いが取れない。
- ・柱にモチーフとして金箔や漆塗りや焼き物のものを貼りつけたりすると、印象も強くて石川県発信のインパクトがあっている。
- ・1年の半分を覆う灰色の世界は金沢だけが持つ美しさ。
- ・金沢なので「金」。
- ・兼六園の緑と雪吊りの曇色と雪のイメージをミックス。
- ・生活圏と全国的にも有名な歡樂街片町・香林坊を結ぶ橋として華やかなイメージとなる橋にしてほしい。
- ・冬の金沢に映える色合いを選定してほしい。
- ・金沢らしさであれば、犀川のほとりや、川辺、背景の山などをきれいに見せることが金沢らしさに繋がると思う。
- ・金沢特産の金粉を内側や部分的にあしらう。控えめで優雅に。

【色に関する意見】

- ・上のほうを薄い色にしたグラデーション。もっとなめらかに。
- ・金沢の歴史にふさわしい落ち着いた色彩、清潔感のある配色。
- ・鉄骨という素材を考慮して彩色してほしい。
- ・歩道の御影石、ガス灯をイメージした街灯にマッチしたカラー。
- ・雪にも映えるレンガ色(ワインカラー)がふさわしいと思います。
- ・古都金沢のイメージで今より明るい犀川大橋。印象的な朱色がいい。
- ・ひときわ目立って、映えるのは「赤 or 朱」。
- ・赤系といっても、しつこくならない程度で、いい色。
- ・インパクトのある色彩にしてもらいたい。
- ・金沢の風光・河川景観・冬景色との調和を目指す。
- ・今の色は少し寒々しいので今度はやさしい暖色系がいい。
- ・金沢は兼六園が思い浮かぶので、緑色かと思いました。
- ・金沢には黄色が映えるとして、曇りがちな灰色の空。黒く艶のある瓦。
- ・赤は華やかさ、青は冷たさを感じます。
- ・多少ビビッドな色になって人々が良く意識し、一種のランドマークになるほど存在感を増させてもいい。
- ・都市の中でも適度に目立ち、背景となる山々とも対比しうる強度を持った色彩を考えると、やはり「赤」になる。
- ・中途半端な中間色はあまり良くない。
- ・加賀伝統の群青壁の色。
- ・赤い橋に降る雪の白さは美しい。
- ・建設当時のねずみ色(文化財建造物としてふさわしく、年代を感じるよう)。
- ・藤色。
- ・犀川大橋の上下流は桜がきれい。それに溶け込む色。
- ・落ち着いた色、明るめの茶系、いつの時期にも通用する色。
- ・川にかかる橋なので、自然をイメージ出来る色、薄い緑系。
- ・金沢という土地柄や気候条件を考慮して暖かい感じの色。
- ・四季を通じてある程度存在を認識でき、かつ優しい色(アースカラー的なもの)。
- ・輪島塗の黒に金箔の金を使って重厚でシャープに。
- ・白(川に来る鷺の白、雪吊りの白、白山の白)。
- ・緑。自然の森の色。
- ・木の色(渋滞していても心休まる、幕末の錦絵)。
- ・アーチ部分は赤、柱等は黒っぽい色。
- ・観光地金沢の名所にする必要がある。インパクトのある金しかない。
- ・河原の色も考慮し、うすい緑系。
- ・原色を避け、中間色がよい。
- ・金箔箔組合の総力をあげて箔(金)を張る。
- ・歴代の寒色よりも淡い暖色系(クリーム色以外)の周辺景観に埋もれない色。
- ・金沢の雪吊りをイメージした真っ白に、金箔を振りかけたゴールドをあしらう。
- ・金沢のイメージがわか色彩。犀川の桜を見るときに気持ちワクワクするような色彩。
- ・茶系の落ち着いた色彩こそが金沢に相応しい。
- ・四季を表現してのグラデーション。
- ・とき色(ピンク系)のグラデーション。
- ・自然の美しさを残し、もう少し明るい新緑系。

【色彩の変更に關して否定的な意見】

- ・景観になじませることが重要なようにかかれていたが、あれだけごちゃごちゃした街の中で、とけこませることは意味があるのか?と感じた。
- ・14年間市民に親しまれた現在の青灰色グラデーションを塗装色によって変えるのは重荷に耐え忍んでいる「橋」に失礼。
- ・現在の色彩に市民の多数が不満を持っているのなら別だが、余り変化のある色に変えるべきではない。
- ・有形文化財として国民の財産となっている。せっかく今の青のグラデーションが市民のシンボルとして認知されているのに、何故文化財の基本となる色を変えなければならないの理解出来ない。
- ・現在の色彩は金沢らしい優柔不断の固まり。ここは21世紀美術館に負けないインパクトを作らしよう。
- ・現在のイメージになれたので、そのままのイメージが続くのがよい。
- ・いまのままでよい。
- ・現在のグラデーションの感じもよく、そのままのイメージを続けて欲しい。

【現在の色彩に対して否定的意見】

- ・現在の色彩はテーマパーク的な色彩であまり好ましくない。

【その他の意見】

- ・税金の無駄遣いをするな。
- ・犀川はアユ、サケの遡上のみられる他、ウグイやコイ等の魚類が生息する自然豊かな河川。特に大橋の上下流は禁漁区に指定されている。
- ・橋の色も大事なことだと思うが、交通渋滞や夜の客待ちタクシーの列についても十分な対策をお願いします。
- ・アーチ部分は現在の青系で、手すり等に茶系で暖かいイメージ。
- ・インパクトのあるものにして話題を取ったらいかがか?。
- ・本物の加賀友禅をアクリル板でサンドイッチし、鉄骨部材に埋め込んでみては。
- ・橋単体ではなく、都市的なスケールを持った視点で問題に対処していただきたい。

【まとめ】

橋のコンセプトから、具体的な色彩に関する意見まで様々な意見を頂きました。

- ・犀川大橋はシンボル性があつたほうがよさそうです。
- ・周田との関係については馴染む意見と対比させる意見とがありました。
- ・犀川大橋の歴史性について、改めて価値を認識された方が多かつたようです。